

官報

號外

明治二十九年二月二日

日曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第十二號

明治二十九年二月一日(土曜日)午前十時五十一分開議

議事日程 第十二號 明治二十九年二月一日

午前十時開議

第一 理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(前會ノ續特別委員報告)

第三 官吏恩給法及官吏遺族扶助法律案(尾崎三良君外一名發議)

第一讀會

○副議長(侯爵黑田長成君) 昨日本院ニ於テ可決ニナリマシタル古社寺保存會組織ニ關スル建議書ハ即日政府ニ提出致シマシテゴザイマス、次ニ昨日衆議院ヨリ明治二十八年度歳入歳出總豫算追加案(戊)明治二十八年度歳入歳出總豫算追加案(己)政府提出ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ東京都制案、武藏縣設置法律案、東京都及武藏縣連帶支辨ノ費用ニ關スル法律案、明治二十一年勅令第六十一號ニ依ル地方稅中警察費ニ對スル國庫下渡金ノ規定ヲ東京都及武藏縣ノ警察費用ニ適用スル法律案、此政府提出案ハ昨日政府ヨリ撤回ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ正三位勳二等近次君、正三位勳二等津田真道君、正四位勳三等中村正雄君、正五位勳三等磯部包義君、從五位勳六等宮島誠一郎君ハ昨日貴族院令第一條四項ニ依リマシテ貴族院議員ニ任ゼラレマシテゴザイマス、次ニ昨日日本席ニ御委託ニナリマシタル二案ノ特別委員ヲ選定致シマシタルニ依テ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

國債證券買入銷却法案特別委員

伯爵清樓 家教君 子爵谷 干城君 子爵林 友幸君
子爵鍋島 直彬君 子爵酒井 忠彰君 船越 衛君
富田鐵之助君 平山 成信君 中村 良謙君

新聞紙法案特別委員

子爵由利 公正君 子爵京極 高典君 子爵小笠原壽長君
男爵渡邊 清君 安場 保和君 渡 正元君
金子堅太郎君 沖 守固君 佐藤清右衛門君

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案特別委員
公爵近衛 篤磨君 伯爵小笠原忠忱君 子爵岡部 長職君

貴族院議事速記録第十二號

明治二十九年二月一日

議長ノ報告

理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

九七

子爵新莊 直陳君

岡内 重俊君

男爵青山 貞君

兒島 惟謙君

馬屋原 彰君

山脇 玄君

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程ニ移リマス

○案作麟祥君 本日モ引續イテ船舶検査法案外二件ノ特別委員會ヲ開キダウゴザイマスカラ退席ノ御許ヲ請ヒマス、此席ニハ私一人ダケナノデス、外ノ委員ハ居リマセヌ

○副議長(侯爵黑田長成君) 案作君御一人ノ御退席ナレバ定足數ニ差支ゴザイマセヌ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 宜シウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ宣告致シマス、第一理事ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 本案ニ附キマシテ委員會ノ報告ヲ致シマス、此案ハ至テ手短イ案デゴザイマシテ、理由モ甚ダ明瞭ニ分ツテ居リマス、依テ委員會ノ結果ト云フモノモ甚ダ速ニゴザイマシタ、其理事ト申スモノハ陸軍ノ法官デアリマス、勿論陸軍ノ法官デアリマスニ依テ文官デアリマス、陸軍中ニ在リト雖モ矢張文官デアリマス、理事ノ恩給ト云フモノハ即チ他ノ文官同様ニ官吏恩給令及官吏遺族扶助法ニ依テ是マデ下サツテ居タ譯ナンドアリマス、然ルニ明治二十八年即チ昨年ノ九月二十日勅令第百八十五號ヲ以テ理事ノ分限令ト云フモノガ出タノデアリマス、勅令ヲ以テ理事ノ分限令ト云フモノガ極メラレタノデアアル、此分限令ガ出タメニ此改正ヲ要スル譯デアリマス、此分限令ニ於テ理事ト云フモノハ他ノ武官將校若クハ相當官ノ如ク豫備ト云フモノヲ置クコトニナツタ又免職ト言ハズシテ退職ト言フコトニナツタ、此理由カラシテ前申シタ所ノ官吏恩給令及官吏遺族扶助法ニ當テルノニ少シ困ルコトガ出テ來マシタ、何故ナレバ官吏恩給法及遺族扶助法、此二ツノ法ニハ退官ト云フ字ガアル、理事ノ分限ハ終身官ト定メラレタニ依テ退官ト云フコトハ無クナツタ、即チ豫備ト云フコトニナツタ、ソレ故ニ此官吏恩給法及遺族扶助法ニ當テントスルニ名稱ガ違ッテ來タ、即チ此案ノ如ク豫備ト爲タ者ヲバ退職ト同視シテ處分シタイト斯ウ云フ案ニ過ギナイノデアリマス、又何故ニ此退職ト云フ退官ト言ハズシテ即チ退職若クハ豫備ト云フコトデ他ノ武官ノヤウニ豫備員ヲ作ッテ置クコトハ必要デアアルカト云フニハ無論戰時ニハ理事ト云フモノハ甚ダ入用ノモノデアアル、何故入用カト云フニ平生各師團ニ附イテ居ル理事ト云フモノハ戰争ノ時即チ野戰軍ト共ニ即チ出征軍ノ

動ク所ニ從テ行ク其跡ニ留守官ト云フモノガゴザイマス、師團司令官ノ方ニモ理事ノ出張スルト共ニ其跡ニモ留守師團長ガ出來ル如ク又留守ノ方ニモ犯罪人ガ有ルカラ此理事ノ必要ガアル、ツレ故ニ平時ヨリ戰時ニナルト一倍モ理事ヲ要スル、其必要ガアルタメニ理事ト云フモノニモ豫備ト云フモノヲ置ク、戰時ハ至ツテ甚ダ必要ナモノデアル、ツレ故ニ今ノ二十八年ノ九月勅令ガ出マシタモノデ先キニ申シマシタ通本案ノ如キ必要ガ起ツテ來タ、斯ウ云フ譯ダサウデアリマス、デ委員會ハ斯ノ如キ簡單ナモノデアリマスカラ、唯一度會シテ相濟ミマシタ、九名ノ委員中八名マデ出席ガアリマシテサウシテ一致ヲ以テ此案ハ可決スベキモノト議決致シマシタ、此段報告致シマス

○松本鼎君 此案ハ簡單ナ案デアリマスカラ議會省略ノ動議ヲ提出致シマス

○子爵曾我祐準君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○船越衛君 贊成

○柴原和君 贊成

○子爵林友幸君 贊成

○森山茂君 贊成

○千阪高雅君 贊成

○湯地定基君 贊成

○子爵岡部長職君 贊成

○角田林兵衛君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 松本君ノ議會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成ガゴザイマス、直ニ決ヲ採リマス、松本君ノ議會省略ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 起立三分ノ二以上ト認メマス、議會ハ省グコトニ相成リマシタ、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

理事豫備トナリ若クハ退職トナリタルトキハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ニ於テ退官者ト同視シ其ノ豫備ニ在ル者戰時若クハ事變ニ際シ現職ニ復シタルトキハ再ヒ任官シタルモノト同視ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別段御發議モゴザイマセヌニ依ツテ本案ニ就イテ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半數ト認メマス、本案ハ可決セラレマシテゴザイマス

○安場保和君 最前都制案竝ニ其他數件ノ政府提出ノ議案ハ撤回ノ旨御報告

ニナリマシテゴザイマスガ、右ニ附キマシテハ政府委員ニ質問ヲ致シタイ廉ガゴザイマス、今日ハ出席ハアリマセヌデゴザイマスガ願クハ出席ノアルヤウニ御取計ヒテ願ヒタウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 安場君ニ申シマスガ、質問トゴザイマスレバ例ガゴザイマスコトデアリマスカラ書面ヲ以テ御差出シニナルコトヲ希望致シマス

○安場保和君 固ヨリ廉立チマシタ質問デアレバ法ニ依ツテ質問書ヲ差出シマスケレドモ此御規則ハ如何デアアルカ篤ト承知モ致シマセヌガ撤回ニ附イデノ先キノ方針ヲ承ルダケノコトデアリマスカラ、願クハ出席ニナルヤウニ御取計ヒガ出來マスコトデゴザイマス、マ一應伺ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今ノ御請求ハ議事日程以外ノコトデゴザイマスカラ、ドウモ順序ヲ變更致ス譯ニハ參リ兼ルト存ジマス

○安場保和君 イヤ、マ一應伺ヒマス、議事日程ニハ載セラレテアリマスマイケレドモ、勸考シマスルニ既ニ此席デ御報告ニナツタコトデゴザイマスカラ、其御報告ニ就イテ申スコトデ議事日程ノ變更ニハ及ビマセヌ、日程ノ終リニ臨ンデ最前ノ御報告ニ就イテ報告ニナルコトハ差支ナイト考ヘマスガ、併シ規則等ハ一向不案内デゴザイマスカラ、ソコハ宜シク御斟酌ヲ願ヒタウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第二ニ移リマス、明治二十八年勅令第九十二號承諾ヲ求ムルノ件、政府提出、衆議院送付會議、特別委員長報告、二條公爵

(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)

○公爵二條基弘君 特別委員會ニ於キマシテノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマス、此案ハ實ニ簡單ナル案デアリマシテ、從ツテ其理由モ亦簡單ナル譯デアリマスカラ委員會ニ於キマシテハモウ滿場一致ヲ以テチマシテ原案ノ通可決ニナリマシタ、其理由ハ昨年此日清戰爭ノ起リマシタ後ニ占領地ニ於キマシテ總督府竝ニ威海衛ノ方ヘ軍隊ノ派出ガアリマシタ、ツレニ附イテモ矢張ドウシテモ犯人ガ有ツタ時ニハ、此普通デハ陸軍ノ治罪法ノ命ズル所ニ依ツテ其場所デナクテハ外ニ軍法會議ヲ開クコトハ出來ナイ、然ルニ斯様ナル時ニ當リマシテ一朝犯人ガ有ツタ時、此臨時軍法會議ヲ開カナイ時ニハ、其所屬團體ノ人カ又ハ其人ノ屬スル所ノ……權限ニ屬スル所ノ軍法會議ニ以テ來テソレヲ送ツテ、サウシテ處置ヲシナケレバナラヌト云フノハ煩ハシイデアリマス、併シ到底前申サユウナ場合ニ於キマシテサウ云フコトハ誠ニ不利デアツテ出來ナイ、デ便利上此七月ノ勅令第九十二號ニ依リマシテ此法ガ出タノデアリマス、引續イテ今デモ威海衛其他臺灣ノ或ル一部ノ總督府ノ方ニ矢張臨時軍法會議ヲ置イテアルコトデゴザイマス、又其他事變ガゴザイマスレバ必ズ此事ハ必要ナコトデアリマスカラ、ツレ故ニ此勅令ヲ法律ト直シテ承諾ヲ求

ルト云フコトノ譯デアリマス、委員會ニ於キマシテハ至極政府ノ主意ヲ尤モナコトデアリマス考ヘマシテ、滿場一致ヲ以テ承諾ヲ可決シタ譯デアリマス、此段御報告致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本件ニ附キマシテハ別段ニ御發議ガナイト存シマスニ依ッテ是ヨリ本件承諾スベキヤ否ヤノ決ヲ採ラウト存シマス、本案ヲ承諾スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、本案ハ承諾スベシト決シマシタ、次ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案尾崎三良君外一名發議ノ第一讀會ヲ開キマス、是ハ提出文ノミヲ朗讀致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治二十九年一月二十八日

發議者

尾崎 三良

柴原 和

贊成者

公爵

二條 基弘

外三十一名

貴族院議長侯爵峰須賀茂韶殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則

第一條 地方稅支辨ノ俸給ヲ受ケタル郡區長ノ在官月數ハ官吏ノ恩給及遺族扶助ニ關スル在官年數中ニ算入ス

第二條 明治二十三年七月一日以後ニ退官シタル文官判任以上ノ者ニシテ地方稅支辨ノ俸給ヲ受ケタル郡區長在官中ノ月數ヲ除算シ恩給ヲ受ケ若ハ之カ爲恩給ヲ受ケサリシ者ニハ其ノ月數ヲ算入シ恩給ヲ増加シ又ハ新ニ之ヲ給スルコトヲ得

第三條 第二條ニ相當スル者在官中又ハ退官ノ後死去シ其ノ遺族ニシテ扶助料若ハ一時扶助金ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケサリシ者ニハ第一條ニ依リ算定シタル恩給年額若ハ在官年數ニ依リ其ノ扶助料若ハ一時扶助金ヲ増加シ又ハ新ニ之ヲ給スルコトヲ得

第四條 第二條第三條ニ依リ新ニ恩給又ハ扶助料ヲ受クル者ハ左ノ方法ニ依リ最後ニ受ケタル退官賜金又ハ一時扶助金ノ一部ヲ返納セシム

新ニ受クヘキ恩給又ハ扶助料年額ニ其ノ退官又ハ死去以後新ニ恩給又ハ扶助料ヲ受クル日ニ至ルマデノ年數ヲ乘シ月數ハ其ノ月割額ヲ加ヘ退官

賜金一時扶助金ヲ其ノ總額ニ對照シ若超過アルトキハ其ノ超過額ヲ新ニ受クヘキ恩給又ハ扶助料中ヨリ控除ス

第五條 第二條第三條ニ依リ給スル恩給及扶助料ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ起算シテ之ヲ給ス

第六條 第二條第三條ニ依リ受クヘキ恩給、扶助料又ハ一時扶助金ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年內ニ請求セサレハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス

第七條 此ノ法律ニ於テ特別ノ規定ヲ設ケサルモノハ總テ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ノ例ニ依ル

第八條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

〔尾崎三良君演壇ニ登ル〕

○尾崎三良君 此案ハ諸君モ御承知ノ通昨年モ一昨年モ此議場ニ出マシタノデアリマス、一昨年ハ不幸ニシテ衆議院ガ早ク解散ニナリマシテ故ニ議了ニ至リマセナシタ、又昨年ハ衆議院デ之ヲ否決致シタ故ニ遂ニ法律ト爲ルコトガ出來マセヌ、甚ダ諸君ト共ニ遺憾ノコトデアリマス、デ此官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案ハ諸君モ是マデ度々御研究ニナッテ御熟知ノコトデアリマスカラ強テ理由ヲ今更茲デ申上ゲルニモ及ビマスマイ、詰リ昨年特別委員ニ付セラレテ特別委員デ政府委員ト充分審査討議ノ上修正致シテ此議場ヲ通過致シタ議案ノ通リ今年再ビ提出シタノデアリマスカラ、ツレカラ以來格別此事情ニ附イテ其昨年通過シタトキノ事情ト變ルベキ事情ハ別段ナイト存シマスルカラ諸君モ定メテ御贊成下サルコト、考ヘマス、デ昨年衆議院デ否決ニナッタ理由ハ誠ニ短簡ナ理由デ詰リ戰爭最中デ國事多端ノ際ニ此ノ如キコトハ成ルベク後廻シニスルガ宜イト云フ位ノコトデ否決ニナッタと思ッテ居リマス、然ルニ此法律ガ出テドノ位國庫ノ負擔ガ増スカト申セバ昨年政府委員ニ取調ベテ貰ヒマシタ所ガ僅カ七千圓許リデアアラウ、無論何圓何厘マデ精細ナル取調ハ出來マセヌケレドモ略々恩給局杯デ調ベマシタ所デハ七千圓内外ヲ超エヌデアアラウト云フ位ノコトデアリマス、デ是ハ御承知ノ通恩給ヲ受クル者ガ追々老年ニ及ビ死亡致シマスレバ其七千圓モ年々減シテ來デ殖エル氣遣ハナイノデゴザイマスカラ格別之ガタメニ國庫ノ負擔ガ重クナツテドウ斯ウト云フコトハナイ、而シテ一方ヲ見マスレバ此法律ト云フモノハ明治二十三年ニ出來マシタモノデアリマスルガ元々此法律ノ疎漏闕典ヨリシテ恩給ノ恩典ニ預ルベキ人ガ漏レタノデ決シテ法律ノ精神デツレヲ取除ケルノ主意デハナカッタノデアアルノガ如何セン法律ノ不備ナルヨリシテ不幸ヲ蒙ッテ居ルノデアリマス、ドウカ一日モ早ク此法律ガ行ハレテ少々僅ノ人數デアリマスルナレドモツレガタメニ數年間不幸ヲ蒙ッテ居ル人ガ速ニ公平ナル恩典ニ預ルコトヲ希望致シマスルノデアリマスルカラドウゾ諸君ニモ速ニ御贊成アツテ此議場ヲ通過シテ衆議院ニ迴サレシコトヲ希望致スノデアリマス、是ハ昨年當議場ヲ通過シタ通、一字一點モ修正ヲ致サヌノデアリマスルカラ

願クハ二讀會三讀會等ノ手續ヲ省略シテ通過致サレンコトヲ希望致シマス、是ダケノコトヲ

○兒玉淳一郎君 質問ガアリマス、本員モ賛成者ノ一人デアリマスルガ僅ナコトヲ一寸御尋ヲシテ置キマス、此理由書中ニ判任文官ニシテトアリマスツレカラ法文ノ第二條ニハ文官判任以上トアリマスガ法文ヲ主ニシテ見マセウナラバ理由書ノ方モ文官判任以上ト云フコトニ解シテ宜シウゴザイマセウカ
○尾崎三良君 此理由書デアリマスガ實ハ此理由書ヲ書イタ時ニハ此明治十六年以前ノ郡區長ハ判任バカリト心得テ居リマシタガ併ナガラ其後段々取調ベテ見マスルト既ニ其時ニモ奏任官モ有ツタト云フコトデアリマスレバ此理由書ニ判任文官ト發揮ト極メタノハ誤デゴザイマスカラドウゾツレダケハ誤ト御見認下サツテ宜シウゴザイマス、併ナガラ法文ノ上ニ於テハ文官判任以上トアリマスルカラ差支ハアルマイト思ヒマス

○兒玉淳一郎君 分リマシタ

○男爵西五辻文仲君 尾崎君ノ讀會省略ニ賛成致シマス

○森山茂君 賛成

○柴原和君 賛成

○小原重哉君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵林友幸君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

(此他「賛成」ト呼フ者數名アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 尾崎君ヨリ讀會省略ノ動議ガ出マシテ定規ノ賛成ガゴザイマス、是ハ議員三分ノ二以上ヲ以テ決スベキモノデゴザイマス、尾崎君ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ノ順序ハ省略ニ相成リマス、別段御發議ガゴザイマセヌニ依ツテ直ニ本案ノ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシテゴザイマス、明後三日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、侯爵尙泰君請暇ノ件、第二、明治二十八年年度歳入歳出總豫算追加案戊己審査期限ヲ定ムルノ件、第三官設鐵道用品資金増加法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第四、官設鐵道用品ヲ官設鐵道用品資金ヨリ買入ル、トキ前金拂概算渡ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、本日ハ散會

午前十一時二十六分散會